

視点2 健やかな心と体づくりにつながる自己管理能力を高める日常指導(学校給食含む)の工夫

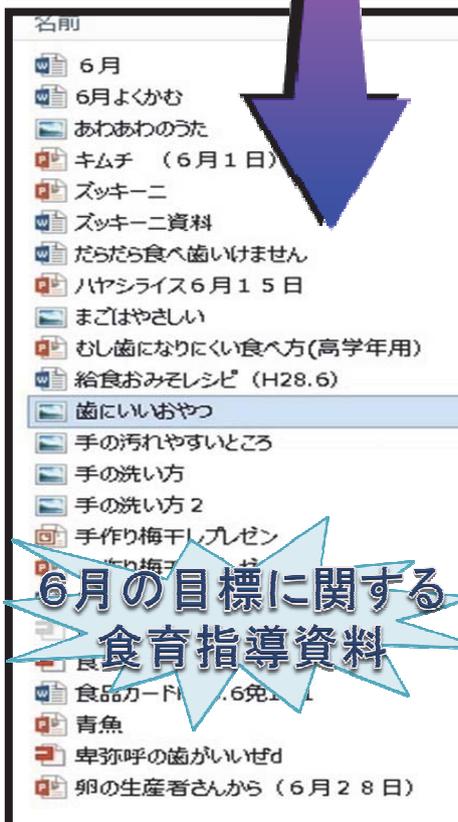
1 食に関する指導の中心に位置付けた「食育タイム」

毎日の給食時間の12時40分から5分間を食育タイムとして設定した。45分間の学級活動は、食育だけでなく他の指導項目もあるため、年間3時間の確保が限度である。しかし、食に関する指導は、子どもたちの健やかな心と体づくりに重要な役割を果たすため、この「食育タイム」において、毎日の給食を生きた教材として活用し、各教科等の学びとつなぎながら、計画的に効果的な指導を行うこととした。わずか5分間の取組だが、食育の6つの観点について、年間を通じて計画的・段階的に栄養指導やマナー指導を積み重ねることで、子どもたちの食への関心が高まり、知識の定着につながった。その際、全クラスで統一した「楽しい給食の時間ボード」を掲示するとともに、学校のパソコンの共有フォルダにある栄養教諭や給食主任等が作成した食育教材を電子黒板で提示し、月ごとの給食・食育目標の指導を徹底できるようにした。

給食指導の流れについては、年度初めに公開給食を実施し、職員間で食べる時間の確保や衛生的な準備、食育タイムの持ち方について意見を出し合い、統一した流れをまとめ、共通実践した。

電子黒板のICT資料

給食の準備中は「配膳モデル」提示



給食の流れを示す給食時計



電子黒板 楽しい給食時間ボード



【担任による食育タイム】



担任は、栄養教諭が作成した「一ロメモ」を参考に、食育の6つの観点について理解を深めるための指導を行っている。

赤・黄・緑の食材の働きや郷土の食材等に関して、児童によるクイズも取り入れ、一方的な指導にならないように工夫している。

【栄養教諭による食育タイム】



各学級で月に1度、栄養教諭が、た月目標に沿った教材を用いて栄養指導を行っている。

【子ども同士による食育タイム】



放送を使って、教科での学びや体験活動の感想を他学年にも広める。

「今日のあさぎり町産の食材は5つあります。何でしょう。」

【生産者による食育タイム】



1 「献立や食材」では、子どもたちからのクイズもあるよ。

食育タイムの2つの柱

- 1 献立や食材**
 - 赤・黄・緑クイズ
 - 郷土の食材
 - 食材の働き
 - 料理のお話
- 2 給食・食育目標、食育の観点(6つ)**
 - 今月の給食目標関連
 - 今月の食育目標関連
 - 食育の観点関連

免田小学校食育推進キャラクター【うもん】

【「楽しい給食の時間」ボードの統一掲示物】

【給食時計】	【食材分けボード】	【給食・食育目標】	【旬の食材】
<p>楽しい給食の時間</p> <p>給食当番 みしたく・手あらい 当番以外 ゴミひろい・つくえおろす・手あらい</p>	<p>わつちからになる ちやにやほねになる からだのちようしき ととのえるたべもの</p>	<p>7月食育目標</p> <p>○何でも残さず 食べよう</p> <p>○何でも残さず 食べよう</p> <p>※体にはいいおやつは何かな？ ※どんな飲み物を飲んだらいいかな？</p> <p>○おやつのお食へ方を 考えよう</p>	<p>旬 7月</p> <p>教師等と関係した給食 7月 1日 「おやつ」の準備 7月 2日 「おやつ」の準備 7月 3日 「おやつ」の準備 7月 4日 「おやつ」の準備</p>